

第2章 南丹市健康増進・食育推進計画のふりかえり

「第2次南丹市健康増進・食育推進計画」の策定にあたり、第1次計画期間中（平成24～28年度）の市の主な取り組みと、第1次計画の進捗状況を分野ごとにまとめました。

■評価基準

目標達成度の評価にあたって策定時の平成23年と、平成27年に調査した最終評価の数値を比較して、その結果を基にA・B・C・D・Eの5段階で評価しています。

評価基準については、以下のようになります。

- | | |
|-----|---|
| A : | 前回計画で設定した目標数値を達成している項目「目標達成・改善」 |
| B : | 策定時の数値と比較して、1.1ポイント～目標値未満の改善がみられる項目「改善傾向」 |
| C : | 策定時の数値と比較して、±1ポイント以内の差しかみられない項目「現状維持」 |
| D : | 策定時の数値と比較して、-1.1ポイント～-9.9ポイントの悪化がみられる項目「悪化傾向」 |
| E : | 策定時の数値と比較して、-10.0ポイント以上の悪化がみられる項目「悪化」 |
| - : | 指標の取り方が変わったなど、評価できない項目「評価不能」 |

1. 健康増進計画のふりかえり

第1次計画における数値目標の進捗状況は、以下のとおりです。

全体の目標達成状況については、目標を達成している項目が33.3%、改善傾向にある項目が15.6%となっています。その一方で、悪化傾向にある項目が30.0%、悪化している項目が8.9%あり、改善策を示していくことが重要です。

【全体の進捗状況一覧】

	目標達成 (A)	改善傾向 (B)	現状維持 (C)	悪化傾向 (D)	悪化 (E)
栄養と食生活	6	2	3	6	0
身体活動・運動	3	1	1	1	2
休養とこころの健康	2	3	2	8	1
タバコ	5	2	1	1	0
アルコール	5	0	3	3	1
歯の健康	8	2	1	2	0
生活習慣病予防	1	4	0	6	4
全体の達成状況	30	14	11	27	8
	33.3%	15.6%	12.2%	30.0%	8.9%

(1) 栄養と食生活

	目標達成 (A)	改善傾向 (B)	現状維持 (C)	悪化傾向 (D)	悪化 (E)
評価の数 (17項目)	6	2	3	6	0

【目標に対する進捗状況】

評価項目	目標値	平成23年 (策定時)	平成27年 (最終評価時)	評価	
朝食をほぼ毎日食べる人の割合					
① 1歳半児	100%	95.0%	96.7%	B	
① 3歳半児	100%	96.0%	98.3%	B	
小学生	100%	-	(※1) 93.9%	-	
② 中学生	100%	84.0%	(※1) 86.1%	-	
③ 20~39歳	男	現状以上	71.3%	78.5%	A
	女	現状以上	88.3%	83.1%	D
③ 40~64歳	男	現状以上	85.9%	82.2%	D
	女	現状以上	93.8%	92.3%	D

③65歳以上	男	現状以上	92.7%	93.6%	A
	女	現状以上	95.7%	95.1%	C
夕食後に間食が週に3回以上ある人の割合					
③20～39歳	男	現状以下	23.4%	25.3%	D
	女	現状以下	21.9%	21.7%	A
③40～64歳	男	現状以下	18.2%	17.5%	A
	女	現状以下	19.0%	17.1%	A
③65歳以上	男	現状以下	13.0%	13.6%	C
	女	現状以下	10.1%	12.3%	D
野菜を1日350g以上摂取している人の割合					
④成人	57.0%以上		43.0%	44.0%	C
食塩摂取量の減少（1日あたりの平均摂取量）					
④成人	男	(※2)8.0g未満	8.6g	(※3) 8.1g	A
	女	(※2)7.0g未満	8.8g	(※3) 9.0g	D

※1は、小学5年生、中学2年生の健康に関するアンケートの結果であり、データ根拠が異なるため評価していません。

※2は、平成27年版数値で、それまでの食塩摂取量の目標量は男性9g、女性7.5gでした。

※3は、平成25年度評価数値です。

資料：①平成22年度幼児健診問診票、②平成22年度中学校給食課題検討委員会アンケート、③平成22年度市民健診質問票、④食事診断

■主な取り組み

- 子育てすこやかセンター事業において、保健師や栄養士による「子育て講座」「0歳児栄養相談」「親子クッキング」を開催【子育て支援課】
- 妊婦栄養相談・離乳食教室・1歳すくすく教室・子育て相談・骨粗しょう症健診結果指導など、各年代に応じた健康教育や相談を実施【保健医療課】
- 市民健診結果報告会で各地区の公民館や会議所をまわり、個別に栄養指導を実施【保健医療課】
- 出前講座（小学校・各地域）、訪問栄養指導を実施【保健医療課】
- 食生活改善推進員の養成・育成【保健医療課】

(2) 身体活動・運動

	目標達成 (A)	改善傾向 (B)	現状維持 (C)	悪化傾向 (D)	悪化 (E)
評価の数(8項目)	3	1	1	1	2

【目標に対する進捗状況】

評価項目	目標値	平成23年 (策定時)	平成27年 (最終評価時)	評価	
毎日、外遊びをしている子どもの割合					
①1歳半児	75.0%	62.0%	98.1%	A	
①3歳半児(1時間以上)	100%	73.2%	95.9%	B	
30分以上の運動習慣がある人の割合					
②20～39歳	男	現状以上	29.0%	25.3%	D
	女	現状以上	9.8%	13.4%	A
②40～64歳	男	現状以上	28.7%	29.2%	A
	女	現状以上	19.7%	19.5%	C
②65歳以上	男	現状以上	57.3%	42.4%	E
	女	現状以上	62.0%	34.3%	E

資料：①平成22年度幼児健診問診票、②平成22年度市民健診質問票

■主な取り組み

- 子育てすこやかセンター事業「親子リトミック」「ベビーマッサージ&ミニ講座」「子育て講座」を実施【子育て支援課】
- しっかり遊ぶことを目的の一つとして、にこにこ親子教室を開催【保健医療課】
- 運動の機会づくりや運動習慣の獲得を目的に様々な運動教室を開催【社会教育課】【高齢福祉課】【保健医療課】
- 運動器の機能が低下している人に対して、機能を維持・向上するために運動教室を実施【保健医療課】
- 地域で運動指導を実践できる人材育成を目的に平成27年度より、介護予防サポーター養成講座を開催【保健医療課】

(3) 休養とこころの健康

	目標達成 (A)	改善傾向 (B)	現状維持 (C)	悪化傾向 (D)	悪化 (E)
評価の数(16項目)	2	3	2	8	1

【目標に対する進捗状況】

評価項目	目標値	平成23年 (策定時)	平成27年 (最終評価時)	評価	
育児不安がある母親の割合					
①乳児期	5.0%以下	10.0%	15.0%	D	
①1歳半児	5.0%以下	17.4%	13.7%	B	
①2歳半児	5.0%以下	20.0%	12.6%	B	
①3歳半児	5.0%以下	17.0%	20.8%	D	
イライラ、くよくよする母の割合					
①乳児期	5.0%以下	28.0%	29.7%	D	
①1歳半児	5.0%以下	30.0%	28.8%	B	
①2歳半児	5.0%以下	35.0%	34.0%	C	
①3歳半児	5.0%以下	27.0%	38.5%	E	
「睡眠が不十分」な人の割合					
②20～39歳	男	現状以下	30.0%	24.1%	A
	女	現状以下	36.8%	33.9%	A
②40～64歳	男	現状以下	25.6%	27.2%	D
	女	現状以下	32.5%	37.8%	D
②65歳以上	男	現状以下	16.5%	16.8%	C
	女	現状以下	21.5%	23.1%	D
「充実感がない」人の割合					
②高齢者	男	現状以下	26.0%	(※1) 27.4%	D
	女	現状以下	19.0%	(※1) 22.6%	D

※1は、平成26年度の評価数値です。

資料：①平成22年度幼児健診問診票、②平成22年度市民健診質問票

■主な取り組み

- こころの相談やほめかた教室、家庭児童相談などを実施【子育て支援課】
- グループ活動を通じて人とのつながりを強め、自信を回復していくグループワーク事業を実施【社会福祉課・保健医療課】
- うつ予防などを目的に、平成25年度から睡眠の問診、睡眠指導を実施。ハイリスク者に対して睡眠講座を開催【保健医療課】
- 認知症予防を目的に、脳トレ教室を実施【保健医療課】
- 自己チェックと相談窓口の周知を目的に市のホームページ上にメンタルヘルスチェックシステム「こころの体温計」を導入【保健医療課】

(4) タバコ

	目標達成 (A)	改善傾向 (B)	現状維持 (C)	悪化傾向 (D)	悪化 (E)
評価の数(9項目)	5	2	1	1	0

【目標に対する進捗状況】

評価項目	目標値	平成23年 (策定時)	平成27年 (最終評価時)	評価	
未成年者の喫煙					
未成年	0%	-	-	-	
成人の喫煙					
①20～39歳	男	現状以下	37.4%	24.1%	A
	女	現状以下	12.7%	10.2%	A
①40～64歳	男	現状以下	39.5%	41.1%	D
	女	現状以下	9.2%	10.2%	C
①65歳以上	男	現状以下	21.7%	17.2%	A
	女	現状以下	2.0%	1.5%	A
妊婦の喫煙					
②妊婦	0%	7.0%	2.7%	B	
子どもがいる家庭で、家族に喫煙者がいる					
③	30.0%以下	52.0%	46.2%	B	
公共施設での分煙の取り組みの実施率(未実施施設の割合)					
④未実施	0%	28.0%	0%	A	

資料：①平成22年度幼児健診問診票、②平成22年度妊婦健診受診券交付申請書問診、③平成22年度赤ちゃん訪問アンケート、④平成20年度公共機関におけるたばこ対策実態調査

■主な取り組み

- 妊娠届出時に喫煙者及び喫煙している家族に対して、禁煙の啓発【保健医療課】
- 南丹保健所との共催で、市内学校において防煙教室を実施【保健医療課】
- CATV 文字放送を使用し毎月22日前後に「禁煙」の啓発を実施 【保健医療課】
- 市民健診結果報告会・各種健康教室において、ポスターやタールビンなどの啓発物の展示・配布【保健医療課】
- 禁煙ステッカーを作成し、店舗施設などへステッカーの掲示協力をお願いし、受動喫煙防止の啓発活動を実施【保健医療課】
- 卒煙チャレンジ教室において個別禁煙指導を実施【保健医療課】
- 各種イベント会場での受動喫煙防止及び禁煙の啓発【保健医療課】

(5) アルコール

	目標達成 (A)	改善傾向 (B)	現状維持 (C)	悪化傾向 (D)	悪化 (E)
評価の数 (12項目)	5	0	3	3	1

【目標に対する進捗状況】

評価項目	目標値	平成23年 (策定時)	平成27年 (最終評価時)	評価	
「毎日飲酒する人」の割合					
①20～39歳	男	現状以下	27.1%	26.6%	A
	女	現状以下	5.5%	7.5%	D
①40～64歳	男	現状以下	51.7%	46.1%	A
	女	現状以下	5.0%	11.9%	D
①65歳以上	男	現状以下	47.9%	47.4%	C
	女	現状以下	3.7%	4.9%	D
毎日飲酒者のうち3合/日以上の人割合					
①20～39歳	男	1.0%	10.0%	23.8%	E
	女	1.0%	2.9%	0%	A
①40～64歳	男	1.0%	7.0%	7.2%	C
	女	1.0%	0%	0%	A
①65歳以上	男	1.0%	1.4%	2.4%	C
	女	1.0%	0%	0%	A

資料：①平成22年度市民健診質問票

■主な取り組み

- 適正飲酒（飲酒量や休肝日など）について、お知らせ「なんたん」で啓発
【保健医療課】
- 市民健診結果報告会において、アルコール摂取量が多い人には個別指導を実施
【保健医療課】

(6) 歯の健康

	目標達成 (A)	改善傾向 (B)	現状維持 (C)	悪化傾向 (D)	悪化 (E)
評価の数（13項目）	8	2	1	2	0

【目標に対する進捗状況】

評価項目	目標値	平成23年 (策定時)	平成27年 (最終評価時)	評価
乳幼児のむし歯保有率				
① 1歳半児	0%	4.4%	2.8%	B
① 3歳半児	20.0%以下	26.4%	24.6%	B
② 5歳児	30.0%以下	33.7%	23.8%	A
12歳児の一人平均むし歯数				
③	現状以下	0.71本	0.20本	A
高齢者で20本以上の歯を有している人の割合				
	40.0%	-	41.0%	A
毎食後、歯みがきをする人の割合				
小学生	100%	-	(※1) 31.0%	-
中学生	100%	-	(※1) 10.6%	-
④成人	設定なし	28.0%	26.0%	D
歯みがき補助用具を使用している割合				
④成人	現状以上	-	53.6%	-
4歳までにフッ化物歯面塗布を受けたことがある人の割合				
	50.0%以上	-	90.4%	A
歯科健診を1年以内に受けた人の割合				
成人	20.0%	10.0%	10.4%	C

生活機能評価の結果、口腔機能の低下がある人						
⑤高齢者	男	現状以下	62.0%	(※2)	63.9%	D
	女	現状以下	45.0%	(※2)	42.5%	A
フッ化物洗口に取り組む保育教育機関						
⑥市立保育所幼稚園 (5歳児)	現状維持		100%		100%	A
⑥市立小学校(全学年)	現状維持		100%		100%	A
⑥市立中学校	全校実施		未実施		100%	A

※1は、小学5年生、中学2年生の健康に関するアンケートの結果であり、データ根拠が異なるため評価していません。

※2は、平成26年度評価数値です。

資料：①平成22年度幼児健診、②平成22年度市立保育所幼稚園歯科健診、③平成23年度市立中学校歯科健診、④平成23年度歯周病予防健診問診票、⑤平成22年度基本チェックリスト、⑥平成23年度実施状況

■主な取り組み

- 平成26年度より1歳8か月児健診において、仕上げみがき指導を導入【保健医療課】
- 平成24年度より2歳5か月児健診において、フッ素塗布の導入を実施【保健医療課】
- 平成27年度より歯科要治療となった児に対して、歯科受診勧奨の案内を配布している【保健医療課】
- 平成25年度より歯周病予防健診の対象を、40～70歳の10歳刻みから、35～70歳の5歳刻みに拡大実施【保健医療課】
- 口腔機能の低下がある方に対して、歯科衛生士・保健師が訪問にて歯科指導を実施【保健医療課】
- 老人クラブやサロンなどで、歯科教室を実施【保健医療課】
- 平成27年度より、妊婦に歯科健診を実施【保健医療課】

(7) 生活習慣病予防

	目標達成 (A)	改善傾向 (B)	現状維持 (C)	悪化傾向 (D)	悪化 (E)
評価の数 (15項目)	1	4	0	6	4

【目標に対する進捗状況】

評価項目	目標値	平成23年 (策定時)	平成27年 (最終評価時)	評価
脂質代謝異常の割合 (要指導以上)				
①20～39歳	現状以下	62.9%	64.6%	D
①40～74歳	現状以下	75.7%	76.8%	D
①75歳以上	現状以下	50.5%	66.3%	E
糖代謝異常の割合 (要指導以上)				
①20～39歳	現状以下	20.6%	27.9%	D
①40～74歳	現状以下	53.5%	65.9%	E
①75歳以上	現状以下	49.7%	71.4%	E
肥満の割合				
①20～39歳	15.0%以下	17.5%	13.5%	A
①40～74歳	15.0%以下	23.1%	20.4%	B
①75歳以上	15.0%以下	17.5%	21.6%	D
がん検診受診率				
①胃がん	50.0%	18.1%	(※1) 16.3%	D
①子宮がん	50.0%	30.6%	(※1) 41.7%	B
①乳がん	50.0%	26.8%	(※1) 40.7%	B
①肺がん	50.0%	42.4%	(※1) 30.9%	E
①大腸がん	50.0%	37.7%	(※1) 31.2%	D
がん検診要精密検査者受診率				
②がん検診要精密検査者	100%	70.2%	72.8%	B

※1は、平成26年度評価数値です。

資料：①平成22年度市民健診、②平成20年度市民健診

■主な取り組み

- 平成26年度より働き盛りの年代が受診しやすい環境を整備するため、休日健診を実施【保健医療課】
- 平成26年度より、平日仕事をしている休日健診受診者・特定保健指導対象者に対して夜間結果報告会を実施【保健医療課】
- 平成24年度より、介護予防・生活習慣病・運動など3～4回のシリーズでテーマを決めて健康講座を実施【保健医療課】
- 「めざせ血管美人」をスローガンに栄養教室・運動教室を実施【保健医療課】
- ミニデイ・サロン・老人クラブなど地域の依頼を受け、健康教育を実施【高齢福祉課】【保健医療課】



(8) ライフステージごとの進捗状況

i 妊娠期（妊婦とその家族）

評価項目	目標値	平成23年 (策定時)	平成27年 (最終評価時)	評価
低出生体重児の割合				
①低出生体重児の割合	減少	10.7%	9.6%	A
タバコを吸う妊婦の割合				
②タバコを吸う妊婦の割合	0%	7.0%	2.7%	B
妊娠初期に貧血がある妊婦の割合				
②妊娠初期に貧血がある妊婦の割合	減少	4.3%	0.4%	A

資料：①平成22年度出生台帳、②平成22年度妊婦健診受診結果

ii 乳幼児期（0～6歳）

評価項目	目標値	平成23年 (策定時)	平成27年 (最終評価時)	評価
午後9時までに寝かせる家庭の割合				
①1歳半児	70.0%	53.0%	62.8%	B
①3歳半児	70.0%	60.0%	61.0%	C
保育所幼稚園児	70.0%	-	23.0%	-
テレビの視聴時間が2時間以上の子どもの割合				
①1歳半児	30.0%	69.8%	81.5%	E
①3歳半児	30.0%	54.2%	84.1%	E
毎日、外遊びをしている子どもの割合				
①1歳半児	75.0%	62.0%	98.1%	A
①3歳半児（1時間以上）	100%	73.2%	95.9%	B

資料：①平成22年度幼児健診問診票

iii 学童期・思春期（7～18歳）

評価項目	目標値	平成23年 (策定時)	平成27年 (最終評価時)	評価
午前7時までに起床する子どもの割合				
小学生	90.0%以上	-	98.3%	-
①中学生	90.0%以上	82.1%	94.9%	-
朝食の毎日喫食率				
小学生	100%	-	93.9%	-
①中学生	100%	80.7%	86.1%	-
テレビの視聴時間が3時間以上の子どもの割合				
小学生	10.0%	-	(※1) 47.0%	-
①中学生	現状以下	14.4%	(※1) 41.4%	-

※平成27年度指標は、小学5年生、中学2年生の健康に関するアンケートの結果であり、データ根拠が異なるため評価していません。

※1は、テレビ、ビデオ、DVDを含め3時間以上視聴している子どもの割合です。

資料：①平成23年度中学校アンケート

iv 青年期（19～39歳）

評価項目	目標値	平成23年 (策定時)	平成27年 (最終評価時)	評価
市民健診受診者のうち「要医療」「治療中」の人の割合				
①	現状以下	23.9%	25.8%	D
脂質代謝異常の割合				
①	男	現状以下	53.0%	E
	女	現状以下	38.0%	E
糖代謝異常の割合				
①	男	現状以下	19.6%	D
	女	現状以下	21.5%	D
肥満の割合				
①	男	15.0%以下	21.5%	C
	女	15.0%以下	13.4%	A
やせの割合				
①	男	15.0%以下	3.7%	A
	女	15.0%以下	16.3%	D
貧血の割合（要指導以上）				
①	現状以下	19.5%	21.3%	D

子宮がん検診の受診率（20歳代）				
②	30.0%	16.6%	(※1) 25.9%	B

※1は、平成26年度の評価数値です。

資料：①平成22年度市民健診、②平成22年度市民健診（子宮がん検診）

v 壮年期（40～64歳）

評価項目	目標値	平成23年 (策定時)	平成27年 (最終評価時)	評価
特定健診受診率				
①	65.0%	38.3%	(※1) 42.8%	B
内臓脂肪症候群該当者・予備群の割合				
①	男	30.0%	43.5%	B
	女	15.0%	18.3%	A
生活習慣を改善する意思のない人の割合				
①	男	10.0%以下	33.4%	D
	女	10.0%以下	22.9%	D

※1は、平成26年度評価数値です。

資料：①平成22年度市民健診生活習慣質問票

vi 高齢期（65歳以上）

評価項目	目標値	平成23年 (策定時)	平成27年 (最終評価時)	評価
転倒に対する不安がある人の割合				
①	男	50.0%以下	67.0%	(※1) 66.2% C
	女	50.0%以下	79.0%	(※1) 83.5% D
前年より外出回数が減っている人の割合				
①	男	現状以下	36.0%	(※1) 35.4% A
	女	現状以下	39.0%	(※1) 38.8% A
固いものが食べにくい人の割合				
①	男	現状以下	51.0%	(※1) 53.8% D
	女	現状以下	45.0%	(※1) 39.2% A

※1は、平成26年度評価数値です。

資料：①平成22年度基本チェックリスト

2. 食育推進計画のふりかえり

平成24年度から南丹市健康増進・食育推進計画庁内推進委員会食育推進部会（以下、「食育推進部会※」という）を定期的開催。食に関する情報を共有し、広く情報発信や、食育活動を行いました。

（※関係課：地域振興課、農政課、商工観光課、保育所、学校教育課、保健医療課）

■食育推進部会の主な取り組み

- 南丹CATV「おいしく・たのしく・ごちそうさま」で定期的情報発信
- 広報なんたん「食は、ひとづくり、まちづくり」で定期的情報発信
- そのべ軽トラ市で食育コラボ事業を実施
- 南丹市食育ロゴマークを作成。活用事業所を募集



（1）食生活と健康 ～早寝・早起きをして、おいしい朝ごはんを食べよう～

■主な取り組み

- 南丹市食事バランスガイドを全戸配布、様々な機会に活用【保健医療課】
- すべての事業を通して、生活リズムを整えるための指導助言を実施する【保健医療課】
- 食事調査を実施し、食育だよりなどで情報を発信【保育所】
- 食育だよりなどを通して、食と健康の情報を発信【小・中学校】
- 小・中学校の健康アンケートで朝食を毎日食べている者の実数把握調査を実施【保健医療課】
- 減塩について、平成27年度から京都府立大学との共同で、乳幼児の親子から尿中塩分を測定し減塩につなげる取り組みを実施【保健医療課】

（2）食文化の継承 ～食を通じて世代を超えてつなげよう、つながろう～

■主な取り組み

- 伝統食や地元野菜を使った健康食レシピ集を作成、活用【保健医療課】
- 食育推進部会では、伝統食、行事食に取り組む個人や団体との交流を図り、取材・記録・紹介を実施
- 給食に、季節に合わせた行事食を取り入れる【保育所、小・中学校】
- 食に関する道具の使い方や楽しみ方を学ぶ機会づくりとして、「マイ箸マイ茶わんキャンペーン」を展開【地域振興課】
- 給食では、衛生的な身支度や箸の使い方、マナーの指導、栄養バランスなど、食に関する様々な面からの指導を実施【小・中学校】

(3) 風土を活かした食育 ～身近にある「南丹市産」を食卓にもっと活用しよう～

■主な取り組み

- 市民提案型まちづくり活動支援交付金の利用で、市民が地域で自主的に食育を進める活動支援の実施【地域振興課】
- それぞれの地域性を活かし地元農家や事業所などつながりながら、農業体験や料理体験をする実践型食育を実施【小学校】
- 給食の米については、すべて地元産を活用【保育所、小・中学校】
- 南丹市・京丹波町で、給食に京都丹波産豆を積極的に活用【小・中学校】
- 給食において地産地消の推進を図るため、各給食センターでは、納入事業者と連携して地元産食材の活用を進めている【小・中学校】
- 「きょうと食いく先生」の推進【農政課】
- 南丹振興局が2市1町の農産物直売所のマップを作成し、広報を実施【農政課】

(4) 食とコミュニケーション ～食を通じて教わろう、教えよう～

■主な取り組み

- 「弁当の日」の取り組みの推進【小学校、保健医療課】
- 親子クッキングにおいて、幼少期より食事づくりに関心を持ち関わることのできる環境整備の推進【保育所】
- 給食を友達や先生と一緒に楽しく食べることができる環境の充実を推進【保育所】
- 給食試食会などを通じて、家庭ともつながる取り組みを継続している【小学校】
- そのべ軽トラ市を活用し、生産者と消費者のコミュニケーションの場を提供【商工観光課】
- 小・中学校の健康アンケートで家族揃って食事を摂ることについての実数把握調査を実施【保健医療課】

【ライフステージごとの取り組み】

■妊娠期（妊婦とその家族）

- 妊婦の食事診断を行い、パパママ教室の充実を推進【保健医療課】
- 妊婦の体格に応じた適切な体重増加の推進【保健医療課】

■乳幼児期（0～6歳）

- 乳幼児健診や相談、親子教室、子育て広場などで「早寝・早起き・朝ごはん」を啓発【保健医療課】
- 食育だよりなどで「乳幼児期に大切にしたいこと」や「朝ごはんの大切さ」の広報を実施【保育所】
- 家庭での子どもの食事の実態を把握するため、食事調査を実施【保育所】

■学童期・思春期（7～18歳）

- 各地域の栄養教諭が定期的集い、給食をはじめとした食育についての協議を実施【小・中学校】
- すべての中学校で給食を実施【中学校】
- 給食については、各地域の給食センターで指導年間計画に基づいた調理を実施【小・中学校】
- 給食時間を確保し衛生面にも留意して、最後まで食べられる支援を実施【小・中学校】
- 家庭科と連携することで、授業の中で体験型の食の取り組みを実施【中学校】

■青年期（19～39歳）

- 健診や教室などを活用しバランスのとれた食事を啓発【保健医療課】
- CATV や広報誌、市のホームページを活用し地元の食材を使ったレシピの紹介を実施【食育推進部会】

■壮年期（40～64歳）

- 40歳の節目に健診案内と問診票を申し込みの有無にかかわらず送付し、自身の生活や身体を見直す機会として受診勧奨を実施【保健医療課】
- 運動や栄養など様々な角度からの充実した健康教室を実施【保健医療課】
- 食生活改善推進員養成講座を実施【保健医療課】

■老年期（65歳以上）

- 食材の調達や食事の支援が必要な方に配食を行う「食の自立支援サービス」を実施【高齢福祉課】
- 高齢者が持つ食文化の伝承を取材し、CATVなどで広く情報発信を実施【食育推進部会】
- 伝統食や地元野菜を使った健康食レシピ集を作成【保健医療課】

■食育推進計画評価指標一覧

評価項目	目標値	平成23年 (策定時)	平成27年 (最終評価時)	評価	
学校給食への南丹市産農畜水産物の供給品目数の割合	30.0%	23.6%	25.4%	B	
保護者を含めた参加型食育を実施している保育所、幼稚園の割合	100%	100%	100%	A	
家族揃って食事をする中学生の割合	現状以上	69.0%	(※1) 59.9%	—	
食事バランスガイドを活用した事業を実施している団体数	現状以上	2団体	2団体	A	
朝食を毎日食べている人の割合					
3歳半児	100%	96.0%	98.3%	B	
小学生			(※1) 93.9%	—	
中学生	100%	84.0%	(※1) 86.1%	—	
20～39歳	男	現状以上	71.3%	78.5%	A
	女	現状以上	88.3%	83.1%	D
団体数（市民提案型まちづくり活動団体）	現状以上	2団体	5団体	A	
食育を中心に関わるボランティア団体数	現状以上	6団体	6団体	A	
伝統食、行事食を「食育だより」などで啓発を行っている保育所幼稚園、小学校数	27か所 (すべて実施)	27か所 (すべて実施)	27か所 (すべて実施)	A	

※1は、小学5年生、中学2年生の健康に関するアンケートの結果であり、データ根拠が異なるため評価していません。